

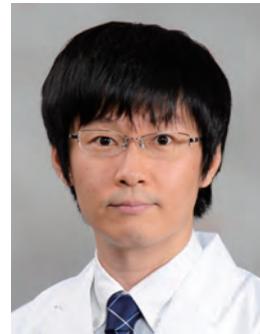
受領No. 1679

光変換技術を利用して神経免疫関連機構を解明する

代表研究者 田中 真司（東京大学医学部附属病院 助教）

Elucidating neuroimmune interactions with photoconversion

Representative Shinji Tanaka (Assistant Professor, The University of Tokyo Hospital)



研究概要

急性腎障害は喫緊の臨床課題であるが、特異的な治療法はいまだ存在せず、革新的な治療戦略が求められている。申請者と留学先（前所属先）の研究室はこれまでに、迷走神経感覚性線維刺激と拘束ストレスが、ともにC1ニューロン（延髄）→交感神経→脾神経→脾臓→腎臓という遠心路（下行路）を介して、急性腎障害に対して保護的に働くことを明らかにしてきた。しかしながら、抗炎症性に phenotype を変えた脾細胞がどのように遠隔臓器である腎臓を障害から保護するか、については不明のままである。本研究では、光変換技術（photoconversion）を用いた生体内細胞標識を用い、上記腎保護経路における脾臓→腎臓の missing link を解明することを目的とする。